

玉村町の情操教育への取り組みは



月田 均



教育長

今後一層充実させていきたい

質問

GIGAスクール構想（※1）推進などにより、教育現場ではICT教育の導入が加速している。玉村町では1人1台の学習用端末の整備ができることになった。

情報活用能力が育成されることを期待するところだが、このような中、心や人間力を育てる教育（情操教育）はますます重要になってきていると思う。玉村町は情操教育にどのように取り組んでいるか。

答弁

教育長 町内全ての学校園で、教育目標に、豊かな心、豊かな人間性の育成を掲げ、心を育てる教育（情操教育）に取り組んでいる。

幼稚園では遊びや生活の中で様々な体験ができるよう環境づくりを行っている。

小中学校では友達や異学年の子供、地域の方々、また、自然や芸術等とかわかれる様々な機会を通して豊かな心を育んでいる。また、道徳の授業も重要な

質問

役割を果たしている。さらに、音楽や図工・美術、国語等の授業で様々な芸術に触れたり、理科の授業で自然や科学の神秘に触れたりもしている。

ICTは、あくまでも学びを深めるための手段であり、今後は整備されたICTを有効に活用して、心を育てる教育を一層充実させていきたい。

正午のサイレンの復活 その後どうなった

質問

過去に一般質問した正午のサイレンの復活、水防センターの災害資料展示、「麦秋の郷」の旗の今年の実績は。

答弁

町長 正午のサイレンについては、社会における就業形態や生活様式の多様化、また住環境保持に関する権利意識も変化しており、復活は難しい。

水防センターの災害資料展示については、会議室の壁面等にカスリーン台風時の写真等、災



平成24年4月1日から月1回3秒程度になってしまったお屋のサイレン

害に関する資料を展示した。町農業委員会が発信している「麦秋の郷」の旗は、今年は89本設置した。麦秋の光景は二毛作地帯である玉村町の特色であり、誇れる風景である。町としても町内外の方々にPRをしていきたい。

こんな質問もしています

町道横の植え込みの除草について

水辺の森公園のごみへの対応は

※1 GIGAスクール構想とは19ページを参照

総合計画策定の基本的な考え方は



渡辺 俊彦



町長

町の発展につながる計画とする

質問

現在策定中の第6次玉村町総合計画は、今後12年間の町の方向性を見据えた大事な計画である。どのような考え方を基本に、計画の策定に取り組むのか。

答弁

町長 町民及び行政が協力し合い、人々が充実した毎日を送れる持続可能なまちづくりを進めていくことが重要と考える。

そこで今回策定する計画では「人生が充実し、毎日安心して暮らせること」をまちづくりの基軸と考え、「暮らすなら、ここがいい」と感じてもらえるまちづくりをテーマとした計画づくりに取り組んでいるところである。本計画は実施計画を定めない二階層構成とし、具体的な施策は各課で定める個別計画で示すことにより、社会の変化等に合わせて柔軟に施策を変えていける構成とする考え方を取り入れた。今後12年間のまちづくりが町の発展につながるものとなる

よう取り組んでいく。

玉村町の農業の未来は

質問

農業従事者の高齢化が進む中、将来に向けての農業支援策は。

答弁

町長 本町は土地改良事業により面的な整備が済んでおり、その水田を活用することが肝要と考えている。そのためには、これまでの二毛作体系を継続することが大切である。水田を有効活用し、食料自給率の向上を掲げる国の経営所得安定対策事業にも合致するので、さらなる活用推進を図っていく。あわせて、国や県の補助事業を活用して、機械や設備の導入等を継続して支援していく。

プレミアム付商品券発行事業への取組状況は

質問

7月末には事業の実施が決定している。開始時期が少し遅いのではないかと

答弁

経済産業課長 予算が付いてから開始し、そこから体制を整えるところ3か月はかかる想定したため、受付開始を9月23日とした。

質問

大型店の取り扱いについてはどうか。

答弁

経済産業課長 大型店については、商品券の利用可能店舗に登録してもらえらう、商工会に回っていただいている。



玉村町の農業の未来は